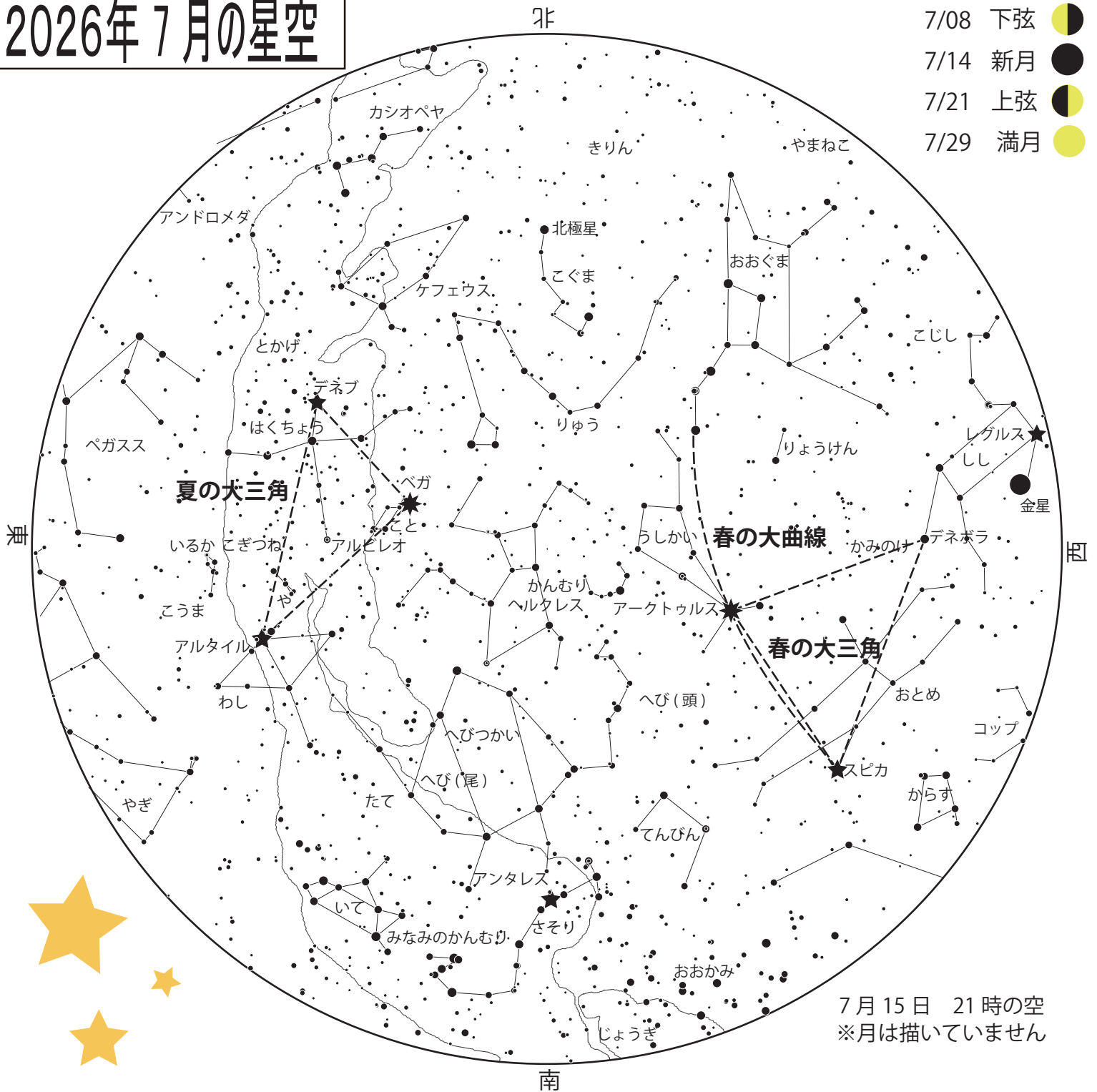


姫路で見る 2026年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

7/08 下弦 
7/14 新月 
7/21 上弦 
7/29 満月 



7月15日 21時の空
※月は描いていません

7月を迎えて本格的な夏がやってきました。南の空と東の空は、夏の星たちでいっぱいになっています。
さそり座は**いて座**に弓矢で狙われていて、西の空へと逃げていきます。**こと座**の**ベガ**は七夕の物語の**織姫星**、**わし座**の**アルタイル**は**彦星**です。**織姫星**と**彦星**の間には「天の川」が流れていて、毎年七夕の日だけに会うことが許されています。七夕は旧暦の7月7日で、現在の暦では今年は8月19日が伝統的七夕になります。七夕の星たちとは**はくちょう座**の**デネブ**をつないでできる「夏の大三角」は、夏のシンボルです。
先月、**ふたご座**で**木星**と、**かに座**で**プレセペ星団**と大接近した宵の明星の**金星**。今月はさらに移動し、7月9日には**しし座**の1等星**レグルス**と満月2個分まで近づいて、ライオンの胸に金星がマイナス4.2等で明るく輝きます。7月17日には、西の低空で月齢3の細い**月**と**金星**が接近して見えます。地球照を伴った幻想的な細い**月**と宵の明星の共演は、数ある月と惑星の接近の中でも随一の美しさです。